

受付番号	2	受付月日	令和5月8月15日 午前9時55分
------	---	------	----------------------

東郷町議会議員 石橋 直季 殿

東郷町議会議員 会派名 無 会 派

議席番号 5 番 氏 名 中野まさひろ

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 2 - 1

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 熱中症対策について	<p>(1) 総務省消防庁の発表では、本年8月6日までの4週間での全国の「熱中症による救急搬送」は43,918人で、昨年同期の1.55倍に上っている。また、愛知県への「熱中症アラート」の発表は、8月14日時点で22回に上り、昨年一年の回数12回の2倍近くになっている。</p> <p>そんな中、命の危険を招きかねない熱中症の的確な予防のための啓発、指導及び施設整備を万全に行う必要がある。</p> <p>ア 町民の皆さまへの熱中症予防の啓発方法及び内容を問う。</p> <p>イ 各小中学校への熱中症予防対策の方法についてどのように周知しているか。</p> <p>ウ 各学校への温度計、暑さ指数測定機器設置状況（設置場所、設置個数等）を問う。</p> <p>エ 温度、暑さ指数の測定、記録状況（時間、頻度、タイミング等）を問う。</p> <p>オ 体育、部活動の中止の判断基準の内容を問う。</p> <p>カ 体育、部活動の中止判断はどのように行っているか。</p> <p>キ 体育、部活動の中止状況を問う。</p> <p>ク 熱中症と思われる原因で体調不良を訴えた児童生徒教職員等の人数を問う。</p> <p>ケ 上記クの内、受診した等の者がいればその状況を問う。</p> <p>コ 避難所にもなる各小中学校の屋内運動場への空調設備整備の検討状況を問う。</p> <p>サ 各小中学校における熱中症防止のための大型ファン等の機器整備状況を問う。</p>	町長 教育長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
2 ごみ減量・資源化について	<p>(1) 本年7月からのプラごみの計画収集によってプラごみの収集、資源化は一定の道筋が見えた。現在、燃やしているごみの中で最大の重量を占めている生ごみの減量及び資源化が次の課題である。</p> <p>そのためには、以下の取組が必要である。</p> <p>ア 各家庭からの生ごみ排出量を減らす取組</p> <p>イ 生ごみ、剪定枝や竹、刈った草等の資源化</p> <p>(ア) プラスチック容器包装の過去の回収実績を問う。</p> <p>(イ) 本年7月から実施のプラスチック資源回収実績を問う。</p> <p>(ウ) 尾三衛生組合東郷美化センターへのごみ搬入量の変化を問う。</p> <p>(エ) 尾三衛生組合構成市との比較分析を問う。</p> <p>(オ) 生ごみの減量策を問う。</p> <p>(カ) 剪定枝や竹、刈った草等のたい肥化の検討状況を問う。</p> <p>(キ) 子どもたちに対する生ごみ減量への啓発について問う。</p>	町長 担当部長
3 給食センターにおける残飯及び生ごみ減量・資源化について	<p>(1) 大量に発生する給食センターの残飯及び生ごみの減量、資源化は、給食という子どもたちに身近な事柄での取組であることから、子どもたちを通じて、家庭での生ごみの減量、資源化を後押しする効果がある。</p> <p>先進自治体や企業等の取組を参考に、大量に発生する給食センターの残飯及び生ごみを減量、資源化する必要がある。</p> <p>ア 給食の残飯量及び現行の処分方法を問う。</p> <p>イ 給食の調理段階で発生する生ごみの量及び現行の処分方法を問う。</p> <p>ウ 給食の残飯資源化の検討状況を問う。</p> <p>エ 「生ごみ処理装置」の導入「有機肥料化」等、給食センターで発生する生ごみの資源化の検討状況を問う。</p>	町長 教育長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。